構内遺跡収蔵遺物概要（2022年３月現在）

種類	遺跡名（地区名）	調査名：工事名	箱　数（１箱：約30リットル）							特殊遺物ほか
			総数	土器	石器	木器*	種子*	その他	ｻﾝﾌﾟﾙ*	
発掘	鹿田	第１次調査：外来診療棟	546.5	503	6	20	0.5	1	16	丹塗り土師器・白磁・瓦器・木製短甲・人面線刻土器・ガラス滓・馬骨等
		第２次調査：NMR-CT室	106.4	96	0.4	4.5	0.5	1	4	黒色土器・田舟・木簡・墨書土器・転用硯・円面硯等
		第３次調査：医短校舎	58.6	36	0.3	18	0.3		4	石帯
		第４次調査：医短配管	4	2	0.3	0.5	0.2		1	古代土器・鹿角製品
		第５次調査：管理棟	101.2	88	2.5	6	1.5	0.2	3	木器・炭化種子・牛頭骨・焼き印付き井戸枠
		第６次調査：RI総合センター	62	59	0.5	1	1.5			青銅製椀
		第７次調査：基礎医学棟	77.5	73	1	1.3	0.2	1	1	猿形木製品
		第８次調査：RI治療棟	10	10						備前焼椀・瓦器椀・播磨産椀
		第９次調査：病棟	120.1	96	0.1	13		9	2	木簡3点
		第10次調査：共同溝	2	2						古代土器・杭
		第11次調査：病棟	74	66		4		2	2	木簡1点
		第12次調査：エネルギーセンター	147	77	1	54			15	近世漆塗り櫛、籠、須恵器壺
		第13次調査：総合教育研究棟	269	229	24	10			6	曲物
		第14次調査：病棟	66.2	55	1	2	0.2	1	7	木簡・瓦器椀
		第15次調査：総合教育研究棟	4	3					1	―
		第16次調査：立体駐車場	1	1						―
		第17次調査：総合研究棟	111.2	68	4	8	0.2	1	30	―
		第18次調査：中央診療棟（本体）	155.5	116	19	18	0.5		2	―
		第18次調査：中央診療棟（その他）	4	2					2	猫形木製品、近世護岸木材
		第19次調査：歯学部渡り廊下	185	145	1	4			35	壺棺、蹄脚硯、貝
		第20次調査（A･B地点）：中央診療棟	296	148	68	62		6	12	―
		第20次調査（C･D地点）：中央診療棟	86.1	55	16	7	1	0.1	7	―
		第21次調査：環境整備	10.1	4	1	3		0.1	2	陽物形木製品
		第22次調査：地域医療人育成センター	175	146	3	25		1		―
		第23次調査：Ｊホール	33	30		1			2	―
		第24次調査：医歯薬融合棟	105	52	4	21			27	絵馬（猿駒曳・牛）
		第25次調査：中央診療棟Ⅱ期	85	52	3	4		5	21	烏帽子
		第26次調査：動物舎	75	34	4	7		2	28	―
		第27次調査：自家発電設備	2	2						―
		第28次調査：アメニティモール新営	122	81	3	37		1		―
		第29次調査：先端治療・臨床検査センター予定地	30	18	2	7.5		0.5	2	―
	津島岡大	第１次調査：NP-1	5	0.5	0.5	4				―
		第２次調査：農学部合併処理槽他	15.5	12	1.5				2	突帯文土器・弥生前期土器
		第３次調査：男子学生寮	59	48	1.5	2	4.5		3	縄文後期土器・突帯文土器・石製指輪、蛇頭状土器片・鎌状石器・堅果類・種子
		第４次調査：屋内運動場	1	1						―
		第５次調査：大学院自然科学研究科棟	85	71	3	1	8		2	縄文後期：土器・耳栓・櫛・堅果類･種子
		第６次調査：生物応用工学科棟	53	36	1	9	6		1	古代土器・人形木器、編み物、弥生前期人形土製品・堅果類
		第７次調査：情報工学科棟	13.5	10	0.5	1			2	―
		第８次調査：遺伝子実験施設	11.5	11	0.5					―
		第９次調査：生体機能応用工学科	42.5	35	2.5	3	2			堅果類・種子・縄文後期土器
		第10次調査：保健管理センター	86	78	1	7				分銅形土製品、鍛冶関連、器台
		第11次調査：総合情報処理センター	4.5	3	0.5				1	―
		第12次調査：図書館	60.2	38	1	20	0.2		1	弥生木製農耕具・鎧
		第13次調査：福利厚生施設北	12.5	12	0.5					―
		第14次調査：福利厚生施設南	12.2	11	0.2				1	―
		第15次調査：サテライトベンチャービジネスラボラトリー	38	15	2	20			1	縄文後期耳栓・編み物、堅果類
		第16次調査：動物実験棟	2.3	0.3					2	―
		第17次調査：環境理工学部校舎	74	63	11					縄文後期土器
		第18次調査：南福利ポンプ槽	0.2	0.2						―
		第19次調査：コラボレーション・センター	28	21	1	4		1	1	炉壁・鞴羽口
		第20次調査：環境理工学部ポンプ槽	0.2	0.2						―
		第21次調査：工学部エレベーター	7	5	2					縄文中期土器・横長削器
		第22次調査：環境理工学部校舎	33.9	26	4	3	0.2	0.2	0.5	古代堰部材
		第23次調査：総合研究棟	81	20	0.5	60	0.5			縄文後期杭、石棒
		第24次調査：総合研究棟渡り廊下	2.1	1	0.1	1				―
		第25次調査：農学部散水施設	0.3	0.1		0.2				―
		第26次調査：事務局本部棟	25	17	2	5			1	―
		第27次調査：創立五十周年記念館	18.2	14	1			0.2	3	縄文後期土器（中津）
		第28次調査：自然科学系総合研究棟	15.2	13	2			0.2		―
		第29次調査：農学部共同溝	1.1	1	0.1					―
		第30次調査：インキュベータ	23.3	5	0.1	18			0.2	―

種類	遺跡名（地区名）	調査名：工事名	箱　数（1箱：約30リットル）							特殊遺物ほか
			総数	土器	石器	木器*	種子*	その他	サンプル*	
発掘	津島岡大	第31次調査：大学生協東エリア店舗	5.7	5	0.5			0.2		―
		第32次調査：教育学部剣道場	17	12	3				2	編み物
		第33次調査：薬学部講義棟	12.6	11	1.5			0.1		縄文中期土器（船元）
		第34次調査：国際交流会館	1	1						―
		第35次調査：図書館（増築）	1	1						―
		第36次調査：職員宿舎	2.5	0.5					2	―
		第37次調査：異分野基礎科学研究所	38	37		1				―
		第39次調査：ライフライン再生	4.2	4	0.1	0.1				―
	福呂	第１次調査：実験研究棟	7	6	1					縄文早期土器
		第２次調査：実験研究棟スロープ	3.1	3				0.1		―
試堀確認	鹿田	鹿田駐車場（1985）	1	1						―
		鹿田アイソトープ総合センター（1990）	1	1						―
		地域医療総合支援センター（2010）	1	1						―
	津島岡大	男子学生寮（1985）	1	0.7	0.3					―
		大学院自然科学研究科棟（1986）	1	1						―
		理学部身障者用エレベーター（1987）	0.3	0.3						―
		教養部身障者用エレベーター（1987）	0.7	0.7						―
		工学部校舎（1988）	1	1						―
		動物実験飼育棟・遺伝子実験棟（1988）	0.7	0.7						―
		国際交流会館（1988）	0.3	0.3						―
		大学院自然科学科合併処理槽（1989）	0.2	0.2						―
		学生合宿所（1989）	0.4	0.2					0.2	―
		教育学部身障者用エレベーター（1989）	0.3	0.3						―
		図書館（1989）	1	1						―
		学生合宿所ポンプ槽（1990）	0.4	0.4						―
		福利厚生施設（1990）	0.5	0.5						―
		農･薬学部動物実験施設（1993）	0.1	0.1						―
		環境理工学部校舎（1995）	0.1	0.1						―
		システム工学科棟（1998）	0.1	0.1						―
		正課外活動施設（2012）	2	0					2	―
	（土生）	外国人宿舎（1987）	1	1						―
	（倉敷）	資源生物科学研究所（1990）	0.1	0.1						―
	（東山）	附属小学校校舎（2006）	1.1	0.1					1	―
		附属中学校体育館（2013）	1	0					1	―
立　会		1983年度	2	2						分銅形土製品
		1984年度	1	1						―
		1985年度	1	1						―
		1986年度	0.5	0.5						―
		1987年度	0.5	0.5						―
		1991年度・1992年度	0.3	0.3						―
		1993年度～1999年度	0.8	0.8						―
		2000年度	3	3						―
		2002年度	8.5	2.5	6					弥生早期土器、中世、礎石
		2003年度	2	2						―
		2004年度	1	1						―
		2005年度	1.1	0.1					1	―
		2006年度	1.1	0.1					1	―
		2007年度	0.5	0.5						―
		2008年度	1	1						―
		2009年度	0.2	0.2						―
		2010年度	4.2	0.2				4		近現代、陸軍関連金属器、電線
		2011年度	3	3						弥生後期土器
		2012年度	0.5	0.5						―
		2013年度	1.5	1.5						―
		2014年度	0.6	0.1					0.5	貝サンプル
		2015年度	0.5	0.5						―
		2016年度	0.1	0.1						―
		2017年度	0.1	0.1						―
分布調査		1989年度 三朝･本島	0.3	0.3						―
合　計			3973.6	2975.4	218.4	487.5	32.5	35.4	223.4	

＊：木器・種子・サンプルは整理の進行状況により容量および保管形態が変化するため、表中の数値は当該年度末の収蔵量を示す。